

SIG テーマ名	テストツールを使いこなすコツ	SIG オーナー	湯本剛
SIG オーナー プロフィール	日本ヒューレッド・パッカード株式会社 ソフトウェア事業統括 ALM 事業部 シニアコンサルタント ・ プロフィール: 製造メーカーにて生産管理システムの構築メンバーを経て、ソフトハウスにてテストリーダーとして数多くのソフトウェア開発に携わる。その後ソフトウェアテストのコンサルタントとしてテストプロセスの改善、テストの教育に従事。2010 年、日本 HP に入社し、ソフトウェアテストマネジメントツール/自動テストツールの導入支援のコンサルティングを担当している。		

対象者

- ・ ソフトウェア開発者、マネージャ、テスト技術者、品質保証スタッフなどなど、職種は問いません
- ・ テストツール活用に興味がある方
- ・ テストツールは持っているが、イマイチ活用しきれていないとお悩みの方

こんな話題でお話が出来れば

- ・ 自動テスト、静的解析、テストマネジメントツールなどテストを効率的にするツールを使っていますか？
- ・ 役に立っていますか？役に立っているとすればどんな風に？立っていないとすれば何故？
- ・ テストツールを有効活用するコツは？
- ・ これからテストツールを活用しようと思っているが、まずはどんなことから始めれば良いか？

SIG オーナーの問題意識（テーマ選定の理由）

私は、NPO 法人 ASTER のテストツール WG に参加しています。テストツール WG では、日本のソフトウェアテストの現場でテストツールがあまり活用されていない原因のひとつである「テストツールの存在を知らない/使い方を知らない」に着目し、「テストツールまるわかりガイド」と言う冊子を執筆し、公開しました。ツールベンダーや代理店と言う垣根を越えて、日本の現場でツールを活用してもらうと言う目的に賛同していただいた方々に執筆をしていただきました。

この冊子をベースに、テストツールの活用に関して踏み込んだ議論が出来ればよいと思います。

ツールというのは所詮「道具」ですので、活用するもしないも使いようです。上手く活用できない理由としては、以下のようなことがあげられます。

1. 道具があることを知らない。
2. そもそも道具を使う必要性を感じない。
3. 道具を使いこなすようになるためのメンバー教育/訓練に投資できない。(コストメリットが出ない)
4. 道具を使ったが、自分たちの今のやり方には合わないので、結局役に立たなかった。

逆を言うと上記の理由がクリアできれば活用できるのではないのでしょうか？活用している方はどうやってそれをクリアしているのか？も興味のあるところです。

道具というのは作業を効率的、効果的にするために考えられたものですが、使いこなすには技術力を身につけなければいけません。プロの技術者として、道具を手にし、フル活用すべきだと思います。

最後に

「テストツールまるわかりガイド」をベースに話が出来ればと思います。ぜひ ASTER のサイトにアクセスしていただき、事前にダウンロードして一読しておいてください。

SIG テーマ名	テストエンジニアだからこそ 気を付けるテスト仕様書と報告書の書き方	SIG オーナー	山本雅基(やまもと まさき)
SIG オーナー プロフィール	●山本雅基 ASDoQ 代表幹事／名古屋大学大学院情報科学研究科附属組込みシステム研究センター・ディレクタ／特任准教授. ●ASDoQ(アスドック) システム開発文書品質研究会. (1)文書品質の提案, (2)計測技術の研究, (3)文書品質の普及を行う任意団体. 入会者募集中. http://asdoq.jp/		

対象者

- ・ テスト仕様書とテスト報告書を、書かれている方／読まれている方
- ・ 何をどうやって書けばよいかを、悩んでいる方

こんな話題でお話が出来れば

- ・ テスト仕様書とテスト報告書の目的を確認しましょう.
- ・ どの様なテスト仕様書とテスト報告書が良くて、どの様な文書が悪いでしょうか.
- ・ テスト仕様書とテスト報告書を書く上で、気を付けていることを、互いに披瀝し合い、そこから学びましょう

SIG オーナーの問題意識（テーマ選定の理由）

2011 年 7 月に、「システム開発文書品質研究会」を発足しました. 通称は“ASDoQ”で、「アスドック」と読みます. ASDoQ は、システム開発において作成する要求仕様書やアーキテクチャ設計書やテスト仕様書などの開発文書の品質を研究する任意団体です. この SIG は、ASDoQ の有志が行います.

これも何かのご縁です. 今日は、文書にこだわって見ませんか？

私達ソフトウェア技術者の仕事は、文書として表現されます. 豊富な経験と素晴らしい技術と見事な着想により、しびれるようなテスト仕様を思いついたとしても、それをテスト仕様書に記述しなければ、仕事をしたとは言えません. 何度も行う回歸テストは、テスト仕様書がなければ安定して行うことができません.

つまり、私達ソフトウェア技術者は、開発文書をきちんと書かなければ、仕事をしたと言えないのです. 文書を書くのが嫌いだったり、下手な文書しか書けないと、私たちの豊富な経験も素晴らしい技術も見事な着想も、無に帰します. 「立派な仕事をしているんだぜ」と、いくら叫んでも、あなたの書いた文書しか読んだことがない人は、信じられくれません.

みなさんは、きっと、テスト仕様書と報告書を書く時に、何か気をつけて、何らかの工夫をしているはずで、今日は、その経験をお互いに披瀝し、学び合い、テスト仕様書とテスト報告書を書く力を、少しでも伸ばしましょう.

最後に

私自身は、テスト技術に関して詳しくはありません. だからこそ、日ごろからテスト工程に従事されている皆様との出会いを、すごく楽しみにしています. 私には、楽しい SIG しかできません. ざっくばらんに話し合い、学び合いましょう.

SIG テーマ名	Wモデル 行脚のはてに	オーナー名(複数なら連名で)	野村卓司
SIG オーナー プロフィール	品質保証に従事。 社外発表は、以下の通りです。 2009 年 ソフトウェアテストシンポジウム東京「テストによらない品質保証をめざして」 ソフトウェア品質シンポジウム「表計算ソフトによるモデル検査の試行」 2010 年 ソフトウェアテストシンポジウム東京「テストにおける勘の考察」 2011 年 ソフトウェアテストシンポジウム東京「使い勝手も品質のうち」 2012 年 SWEST 「Wモデルはなぜ普及しないか」 WOCS「経験的 Wモデル論」 SPI Japan「Wモデルのすすめ」 今年は、Wモデルについて行脚をしてきました。		

※必ずしも、以下の形式に従わなくても構いません。ご自由にアピールして下さい。

対象者

システム開発に関係する方

こんな話題でお話が出来れば

Wモデルって何

Wモデルを導入したいが

Wモデルを導入したが失敗した

Wモデルを導入してうまくいった

プロフィールに書いた発表で得たものを含めて、お話ししたいと思います。

SIG オーナーの問題意識（テーマ選定の理由）

Wモデルを導入して、一時的に品質が改善しました。

しかし、人が入れ替わり、プロセスが機能せず、精神的に病んで会社をしばらく休みました。

Wモデルは業界では、まだ知られていないようです。

そこで、私は、ブログの作成、プロフィールのところで書いた発表を今年行いました。

ひとりでも、多くのかたに、Wモデルを知って頂きたいという思いです。

最後に

Wモデルって何っていう方、ぜひ、いらして下さい。

SIG テーマ名	要求仕様書のレビューにはどんな視点が大事？	オーナー名(複数なら連名で)	小楠聡美、根本紀之
SIG オーナー プロフィール	TEF 北海道ソフトウェアテスト勉強会 Testing Engineer's Forum HOKKAIDO ⇒TEF 道 2008 年から TEF 道参加。 2009 年 JaSST 北海道にて成果発表 2010 年 JaSST 東京に事例発表 JaSST 北海道でワークショップ実施 2011 年 HOTATEwワークショップの不定期運営開始(現在まで4回実施) JaSST 北海道にて初心者向けワークショップ実施 2012 年 JaSST 東京にて ①TEF 道 派生ユニット“チーム Yuki Da RMA”にて「テスト設計コンテスト」出場 派生分科会、USDM 分科会を発足し、要求仕様に関する勉強を開始。		

対象者

- ・ 要求仕様書のレビューに従事している方、これから行う方
- ・ レビューの指摘どころがわからなくて困っている方
- ・ 要求仕様書にかかわらず、レビュー作業をすることがある方
- ・ 当 SIG に興味のある方
- ・ 有識者の方々

こんな話題でお話が出来れば

- ・ 要求仕様書が書かれる範囲が認識できていますか？
- ・ 要求仕様書が書かれた背景・立場を意識してレビューできていますか？
- ・ 普段、どんな視点でレビューしていますか？
- ・ 要求仕様書のレビューには何が必要でしょうか？
- ・ 要求仕様書のレビューとテストのレビューの違いを意識していますか？
- ・ TEF 道の紹介

SIG オーナーの問題意識（テーマ選定の理由）

完成した要求仕様書だけを渡され、「これ、レビューしておいて」と言われた経験はないでしょうか？要求の背景、誰がどういう状況で使うソフトなのか？など、何の情報もなしにレビューしても、ただ 1 行目から読んで、誤字・脱字などを指摘して終わってしまうということも少なくありません。その要求が出てきた背景や理由が把握できていないと、正しいレビューができないと感じております。

レビューはテストで検出しにくい欠陥を検出できるチャンスであるとともに、手戻り工数も減らすことができます。しかし、実際にレビューで欠陥をドンドン検出していくためには、レビューの得意分野を考慮したうえで、目的を持って実施することが大切です。

レビューとテストの得意分野の違い、レビューの目的の設定の仕方、背景や理由などレビュー時に必要な情報、見るべきポイントなどを、他の参加者と共有してみませんか？

少しでも皆さんのレビュープロセスの改善のヒントになればと思います。

最後に

TEF 道では、この春から要求仕様書勉強会の分科会を立ちあげ、要求仕様書の書き方や記述範囲などを勉強してきました。そこで得た知識を皆さんにお伝えしつつ、私たちも皆さんの意見を聞かせていただいて勉強させていただきたいと思います。

要求仕様書をレビューする方の他にも、要求仕様書を書かれている方やテストに利用している方なども参考になる内容が出てくると思います。要求仕様書にかかわらずレビュー業務に携わっている人にはきっと有益な情報を得られると思います。目的を持ったレビューをできるように努めてみませんか？

SIG テーマ名	東プロの小部屋「はじめませんか？地域コミュニティ活動」	オーナー名(複数なら連名で)	杉浦 聡
SIG オーナープロフィール	ヤマハ(株)サウンドネットワーク事業部商品開発部ソフトウェアG所属。 2008 年より SEPG を担当。 2011 年より東海地方でプロセス改善を中心に活動する「東海ソフトウェア開発プロセス研究会」(略して東プロ)に参加し、本格的な地域コミュニティ活動を開始。		

※必ずしも、以下の形式に従わなくても構いません。ご自由にアピールして下さい。

対象者

地域コミュニティがどんなものか知りたい人

地域コミュニティに興味を持っているが、参加を迷っている人

地域コミュニティを立ち上げようと考えている人

地域コミュニティに参加していて、その良さを伝えたいと思っている人

参加しているコミュニティをより活性化させたいと考えている人

「東プロって何？」と思っている人

こんな話題でお話が出来れば

地域コミュニティって何？どんなところ？

地域コミュニティの良いところ、得られること

地域コミュニティ活動の体験談共有

東プロ、TEF 東海の活動紹介

SIG オーナーの問題意識（テーマ選定の理由）

世の中には大小さまざまなコミュニティが存在し、活動、活躍をしています。ソフトウェアに関するコミュニティも多数ありますが、その多くは東京、大阪にあり、距離の問題で東海地方からは参加できない、もしくは参加しても活動が制限されることがあります。

そこで注目されるのが、その地域に根差して活動する地域コミュニティの活用です。TEF 東海に代表されるような名の通った地域コミュニティも誕生しており、これからますます重要性が増すと思われます。

そんな地域コミュニティですが、実態が分からず参加に二の足を踏む人もいます。また、自ら仲間を集めてコミュニティを作りたいと考える人もいます。

実際の地域コミュニティの活動を知ってもらい、そしてその在り方についてディスカッションすることで、これから地域コミュニティへの一歩を踏み出そうとしている人の背中を押し、そして既存のコミュニティと参加希望者の距離を近づけることができればと思っています。

最後に

私の所属する東プロは活動開始から2年ほどの若いコミュニティです。まだまだ活動期間は短いですが、そこから受けた良い影響というのは計り知れないものがあります。シンポジウム主催者である TEF 東海と東プロの活動を皆さんに紹介することで、地域コミュニティの良さを共有したい、そして地域コミュニティを少しでも身近なものと感じていただきたいと思います。

すでにコミュニティ活動をしていて体験談を語っていただける方にも SIG に参加していただき、参加希望者とコミュニティとの出会いの場になればなんてことも考えています。

そして、東プロの新しいメンバーになりたいと思う人がいれば・・・なんて期待もしています、ちょっとだけ。

SIG テーマ名	探索的テストから考える テスト現場の工夫	オーナー名(複数なら連名で)	都築 将夫
SIG オーナー プロフィール	某メーカーの子会社でファームウェアのテストを担当しています。 現在、テスト部隊と開発部隊と共にプロダクトリスクとプロジェクトリスクの低減を目指しています。 JaSST' 10 東海でポスターセッション、JaSST' 11 東海で経験発表を行いました。 TEF 東海メトリクス勉強会と TEF 東海原因分析勉強会を中心に活動中です。 また、今年度は継続的発信を課題としており、TEF 東海合宿を企画したり、ソフトウェアテストワー クショップ(WACATE: Workshop for Accelerating CApable Testing Engineers)で夜の分科会で探索 的テストについて語っていましたが、まだまだ修行不足です…精進せねばと思う今日この頃。		

対象者

- (1)探索的テストを探求したい方
- (2)自律的に考え、行動し、作戦展開するテスト部隊を目論んでいる方
- (3)テスト部隊隊員&開発部隊隊員と共闘されている方
- (4)自分も周りもテストを通じてスキルアップしたい方
- (5)メンバーでわいわいとテストに取り組むのが好きな方
- (6)テストを実施するなら、メンバーと楽しくやりたいがね！という方

こんな話題でお話が出来れば

- (1)探索的テストって何ぞや？
- (2)探索的テストを軸にテストの工夫について、みなさんと共有し実践に繋がりたいが、どうすれば…
- (3)そもそも、チームとしての環境作りってどうすれば…

SIG オーナーの問題意識（テーマ選定の理由）

- (1)頑張るだけでテストに取り組む状態では、体力/気力が消耗するばかりで
 テスト部隊としても開発部隊としても限界があります。
 多くの方の知恵を結集して、体力/気力をムダに消耗しないような
 洗練としたテストを考えていきたいと思います。
- (2)開発現場で、開発やテストの楽しさというものが徐々に無くなっているような気がします。
 本来、(開発もそうですが)テストは創造性の高い仕事であり、楽しさもあるはずです。

最後に

技術を探求し、アイデアを固めてから現場で実践し、実践結果をまとめ外部へ発信し、
 多くの方からフィードバックを頂き、さらなる探求ができ、開発現場の発展へ繋げていきましょう！

SIG テーマ名	テストのアジャイル度合い	オーナー名(複数なら連名で)	きょん
SIG オーナー プロフィール	ソフトウェア開発環境改善をテーマに様々なことに挑戦しています。 2011 年 9 月より名古屋市内の企業に就職し、テストエンジニアとして業務に従事しています。 SCMBootCamp 主宰(分散バージョン管理システムのハンズオン勉強会) アジャイル、Groovy、ソフトウェアテスト、TDD などの勉強会に参加、主催。		

対象者

- ・ アジャイルに興味のある方。アジャイルな開発を実践しているかどうかは問いません。
- ・ テストエンジニア、マネージャ、開発者、デザイナーなど職種を問いません。
- ・ テストの見積り、テストの設計、テストの実施、フィードバックループなどの工夫をしたい方。

こんな話題でお話が出来れば

- ・ テストの計画や見積りをどのように変化させていくか、変化させないか。
- ・ ソフトウェア開発をうまくすすめるためにアジャイルな方がよいテストの部分とは何か

最後に

- ・ 自分自身もまだ手探り状態ですが、経験を共有したり、いろんなコンテキストをお互いに知ることで、アジャイルへの理解を深めたり、テストの改善について話したりしたいと思っています。

SIG テーマ名	女性エンジニアのキャリア 悩み相談室	オーナー名(複数なら連名で)	越智 由美子(おち ゆみこ)
SIG オーナー プロフィール	大卒で COBOL プログラマーとしてキャリアをスタート。 汎用システムからクラサバの VB プログラマーへ転身後、某ハードウェア企業でアプリケーション 開発の上流からプロジェクト管理、インフラ構築までを経験。 途中、アプリの品質に興味を持ったことから、TEF 東海に参加。2 度のデスマーチ参画のおかげで プロジェクトマネジメントの必要性を痛感し、PMP を取得。 PMI 日本支部地域サービス委員会 中部地域運営委員。 現在は某社のプロジェクトにて、色々なことをやっています。		

対象者

- ・自分のキャリアに不安をお持ちの女性。
- ・自分の周りにロールモデルがない！とお嘆きの女性。
- ・自分の部下の女性をどう育成すればいいのか？お悩みの上司の方。 ※男性可

SIG オーナーの問題意識（テーマ選定の理由）

JaSST Tokai には、第 1 回から実行委員として参加しています。最初は女性の参加者が少なかったのですが、前回は女性の参加が非常に増えたなあと感じました。

女性の進出が目覚ましいのは、大変いいことだとは思いますが、女性エンジニアのキャリア形成は難しいと思いませんか？

実は私自身、目指すべきロールモデルが見つからず、困惑気味であります。どこに行っても、私より年上のエンジニア女性には、滅多にお目にかかることはありません。また、女性の場合は結婚・出産など、選択肢も多様なので、難しいことこの上ない！！

もしそういう悩みを持つ女性、もしくはそんな女性の上司がいらっしゃれば、皆で共有して、何かいい気づきが得られるといいなあーと考えています。私が何か、お手伝いできれば幸いです。

こんな話題でお話が出来れば

- ・このまま技術者でいいの？どんな道があるの？
- ・自分は管理職になれるの？管理者になったらどうなるの？いやそもそも、自分は管理者になりたいの？
- ・結婚や出産のとき、どうすればいいの？自分のキャリアはどうなるの？
- ・部下の女性は何を考えているの？どうしたいと思ってるの？

最後に

私自身、IT 業界の色々なところで色々な経験を 20 年も積んでおりますので、何かお話しできることもあるかもしれません。他の参加者の姿を見て、気づくこともあるでしょう。堅苦しいことは抜きで、『自分たちは今後、どうなっていけばいいのか？』を、皆で考えましょう。

ご参加、心よりお待ちしております。

SIG テーマ名	不具合よ、さようなら！	SIG オーナー	はやし ひろまさ
SIG オーナー プロフィール	某メーカーにてソフト開発、ソフトテスト担当してます。 TEF-東海では、ドリル勉強会、昨年、1 昨年の JaSST 東海で、ポスターセッション発表、 TEF-東海合宿では、講師に初挑戦させていただきました。		

※必ずしも、以下の形式に従わなくても構いません。ご自由にアピールして下さい。

対象者: テストの初心者、ソフトウェアの不具合に興味がある方。

こんな話題でお話が出来れば

WEB のニュースにあるソフトウェアの不具合をいくつか紹介させていただきます。

それを、ソフトウェア品質特性で分類、さらに本来実施すべきだったテストを

皆さんと考えていきたいです。

SIG オーナーの問題意識（テーマ選定の理由）

- ・ テストをやっていると、不具合がないか？を考えることの大切さを感じます。
 そのなかでも過去の不具合をうまく活用できない事が多いのが実状ではないですかね。
 今回、WEB にあったニュースのソフトウェア不具合をみなさんと確認し、
 気をつけなければいけない、いろいろなポイントをみつけ、整理することから
 いつの日か、“不具合よ、さようなら！”といえるようにしたいですね〜。

最後に

- ・ 今回、SIG 初挑戦！。。。です。
 進め方など、問題があるとおもいますが、温かい目で、すすめさせていただけると、
 たいへん助かります。

SIG テーマ名	初心者歓迎！ソフトウェアテスト相談ひろば。	オーナー名(複数なら連名で)	奥村 健二
SIG オーナープロフィール	組込み機器メーカー所属、品質保証部門を経て、設計部門に所属。システムテスト全般を担当。大規模オフショア開発から小規模開発、派生開発(XDDP)、保守開発まで経験。主に東海地域(名古屋、豊橋、浜松)にてソフトウェアテストに関する勉強会を主催。最近の興味は、各社の独自テストタイプ収集、テストのリバースエンジニアリング、メトリクス、レポート、テスト計画、テスト要件何？三度のメシよりテストの話をするのが好き。 <所属> ・ JaSST Tokai 実行委員 ・ソフトウェアテスト技術者交流会(TEF)東海お世話人 ・ソフトウェアテスト技術振興会(ASTER)会員		

対象者

- ・ ソフトウェアテスト初心者、JaSST 初参加者大歓迎です(^^)
- ・ ソフトウェアに関する悩みを共有してみたい方
- ・ 様々な話題を意見交換してみたい方
- ・ 他の SIG テーマだと難しいかも…と躊躇された方
- ・ 初心者にも優しく、自身のご経験をお話し頂けるベテランエンジニアの方

こんな話題でお話が出来れば

- ・ 皆さんがお持ちのソフトウェアテストに関するどんな話題でも結構です、私がファシリテータをどーんと引き受けます！
- ・ 皆さんの話題を参加者の皆さんと意見交換しながら知見を広げていきたいと思います。

SIG オーナーの問題意識（テーマ選定の理由）

- ・ 社内ではなかなかソフトウェアテストに関する相談ができる場は多くありません。

最後に

- ・ 当 SIG では特定のテーマは設けません。皆さんそれぞれの立場からソフトウェアテストや品質に関する悩みや話題を共有しましょう！
- ・ ゆるーく、熱く、議論や意見交換しましょう！

SIG テーマ名	新人さんにテストをどうやって教えていますか	SIG オーナー	角田 真吾 (かくた しんご)
SIG オーナー プロフィール	1997 年、株式会社オービス総研入社、情報系システムのプリセールス、コンサルティング、システム開発・テスト、システム保守など、幅広く手がけています。 JaSST 東海は初回(2009 年)から実行委員として参画しています。		

対象者

- ・ 新人さんの教育担当の方
- ・ OJTで若手にテストを指導する機会のある方
- ・ テスト教育を受けたもののテストに対する理解がしっくりきていない若手の方

こんな話題でお話が出来れば

- ・ あなたの会社では新人さんにどうやってテストを教えていますか。また悩みや好事例はありますか。
- ・ 自分だったら、こんなふうに教えて欲しいな。または、こんな教え方はやだ。

SIG オーナーの問題意識（テーマ選定の理由）

- ・ 去年の SIG で、「テスト不具合管理～人・コミュニケーション・ツール～」というテーマを担当したのですが、そのなかでも若手や新人さんとのコミュニケーションの取り方や教え方に悩まれているという声が結構ありました。
- ・ 私も毎年のように新人さんと仕事で絡む機会がありますが、斬新な発想や物事の捉え方に新鮮さを覚えたり、驚いたり、ドキドキハラハラすること多いです。
- ・ ざっくばらんに情報共有しつつ、テーマが絞れそうならワークショップ的に解決策までみなさんと一緒に考えてみたいと思っています。

最後に

教える立場の方だけでなく教えられる立場の方の参加也大歓迎です！

SIG テーマ名	技法を現場でどう使う？ ～テスト2年生になるために～	SIG オーナー	森 貴彦(もり たかひこ) 名野 響(なの ひびき)
SIG オーナー プロフィール	森 貴彦 自動車関連会社勤務のソフトウェアエンジニア。プロセス改善部隊に所属。 組込みのソフト開発プロセスを改善しながら、社内のテスト初級者向け教育も実践中。 SIG は 2 回目。今回はテスト技法について、一緒に考えてみましょう。 名野 響 普段のお仕事は自動車関連のソフトウェア開発。ソフトウェアテストに興味を持ち、「地域コミュニティ TEF 東海」、「ワークショップ WACATE」、「テスト設計コンテスト」などに参加し、絶賛お勉強中。派生開発推進協議会 AFFORDD では派生開発プロセス XDDP におけるテストについても研究中。一応、第1回テスト設計コンテストの優勝チームだったりしますが昔の話です(。-。；		

対象者 【注意】チュートリアルに参加された方のみ、本 SIG に参加可能です。

- ・ **【必須】**チュートリアル【テスト1年 シリーズ】はじめてのテスト技法～テスト技法でバグ退治～ に参加された方
- ・ テスト技法、テスト設計に興味がある方(若手大歓迎！)
- ・ テスト技法、テスト設計を実際にテスト活動に取り込もうとしている方
- ・ テスト設計コンテストに興味がある方

こんな話題でお話が出来れば

- ・ チュートリアルのふりかえり
チュートリアルに参加して得られたことをふりかえり(YWT を利用)、みんなで知見を共有しよう。
YWT は Y(やったこと)、W(わかったこと)、T(次にやること)の3つの視点で活動をふりかえる方法です。
- ・ 更なる疑問点の深堀
 - テストの初心者、何を学べばいいの？
 - テスト技法って、実際の開発現場でどう使ったらいいの？
 - テスト技法を学んだあとは、何を身につければいいの？ などなど・・・

SIG オーナーの問題意識（テーマ選定の理由）

チュートリアルや勉強会に参加しても、その場限りで満足していることはありませんか？ 私たちはよくあります(笑)

やりっぱなしでは勿体無いです。一緒にチュートリアルをふりかえて次の活動に繋げましょう。“ふりかえり”は反省会とは異なります。ネガティブに反省点だけを洗い出すのではなく、良い点、チャンレジしたい点も考え、ポジティブに建設的な議論を行うことができます。

チュートリアルで得られた気付きや問題点を参加者の間で共有し、次の一歩を踏み出すために、どのように行動すればいいのか、みなさんと考えて行けたら嬉しいです。

また、チュートリアルで学んだことを実際の現場でそのまま使おうとすると、時間的な問題や、テスト対象物の違いなどが原因で、うまく行かないかもしれません。どうやったら学んだことを現場に適用できるか？といったことも議論してみたいです。

最後に

我々も、テストに関して、まだまだ勉強中です。

みなさんからの質問や疑問にお答えしながら、テスト技法やテスト設計と一緒に学んでいきたいと思っています。